

## 第2回 アンケート調査へ回答を行う際に、参考にご覧ください！

### センター「つどい」アンケート 結果

=ご回答いただいた179のつどい登録団体の皆様、ありがとうございました！=

八尾市市民活動支援ネットワークセンター「つどい」

#### 【調査目的】

- ・ 「つどい登録団体」が何を求めているか、また活動の状況（活動の有無・つどいの利用状況・協働状況）等を把握する。
- ・ アンケート結果から「つどい登録団体」により細やかな情報提供をめざし、今後の市民活動団体等の中間支援内容を考える検討材料とする。

#### 【調査概要】

- ・ 調査期間：平成28年8月～11月
- ・ 調査方法：「ニュースつどい9月号」の発送時に調査票を同封。
- ・ 回収方法：来館・郵便・FAX等でアンケート用紙を回収。
- ・ 調査対象：つどい登録団体（348団体）①
- ・ 回答団体：179団体 ②
- ・ 回答率：51.4%（上記②／①）

#### 【調査結果（1部）】

##### 質問 現在活動をしていますか？【図1】

- ・ 活動している団体は9割を超え161団体であった。活動していない団体は18団体であった。

#### ★活動をしている団体を対象に質問を行った回答結果★

##### 質問1 現在の会員数（記述回答）【図2】

- ・ 記述での回答を1名～9名、10名～19名、20名～49名、50名以上で回答の分類を行った。20名～49名が32.3%と最も回答が多く、次いで50名以上、10名～19名、1名～9名の順で回答が多かった。

##### 質問2 主な活動場所（記述回答・複数回答）

- ・ 記述での回答を八尾市内と八尾市外で回答の分類を行った。回答数は157で複数回答もあり、八尾市内の回答は157団体、市外が14団体だった。
- ・ 「つどい」以外の活動場所としては、コミュニティセンター、生涯学習センター、社会福祉会館、青少年センター、集会所・会館などがあつた。

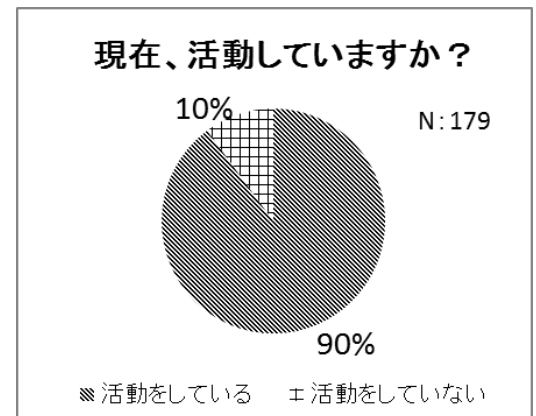


図1：現在の活動の有無

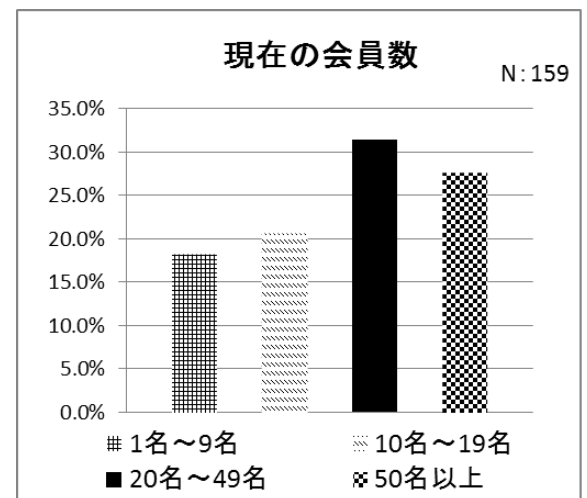


図2：現在の会員数

**質問3 活動の頻度 ・ 質問4 「つどい」の利用状況【 図3・図4 】**

- ・ 各団体の活動頻度と「つどい」の利用状況を比較するためグラフにまとめて比較した。
- ・ 月回数について、「つどい」利用状況では1回未満の回答が75.8%と最も多く、次いで1回～3回、4回、5回であった。各団体の活動頻度では1～3回の回答が39.4%と最も多く、次いで1回未満、5回、4回の順で回答が多かった。
- ・ 年回数については、「つどい」利用状況は1回未満が35.4%と最も多く、次いで1～5回、9～12回、13回以上、6～8回の順で回答が多かった。各活動団体の活動頻度は、13回以上活動されている割合が55.6%と最も多く、9～12回、1～5回、6～8回、1回未満の順で回答が多かった。
- ・ 各団体の活動頻度と「つどい」の利用状況を比較した結果、年回数では、各団体の活動頻度と「つどい」利用状況の回答が相反する結果になった。

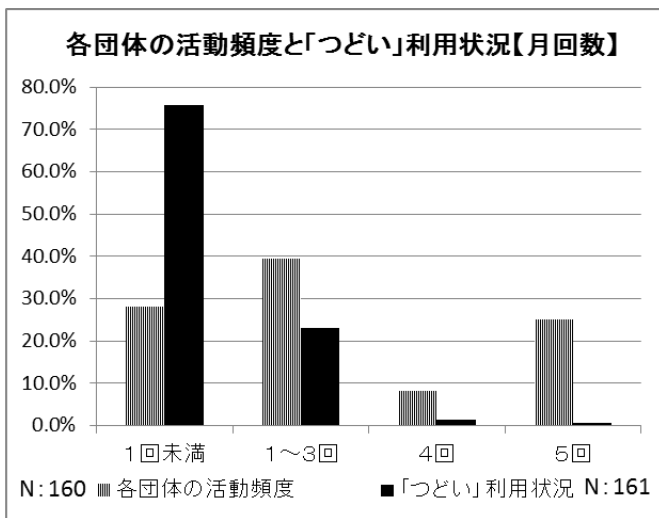


図3：活動頻度と利用状況【月回数】

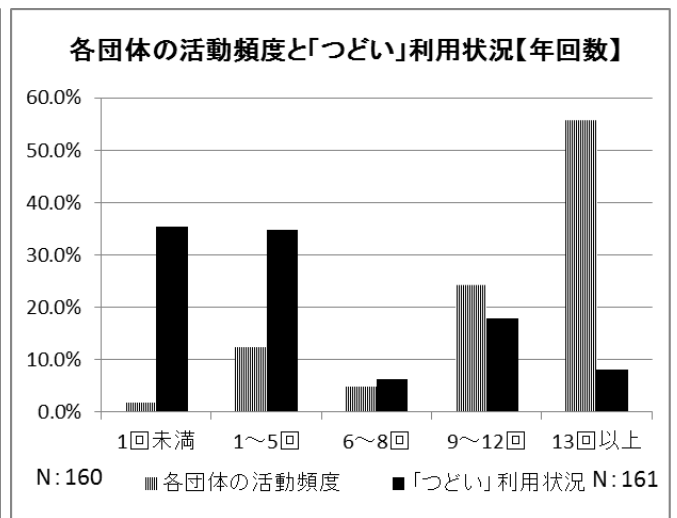


図4：活動頻度と利用状況【年回数】

**質問5 「つどい」利用状況（複数回答）【 図5 】**

- ・ 利用内容は、「印刷」が48.7%と最も多く、次いで「会議室」が43.6%、「チラシ配架」「利用していない」「活動相談」「その他」の順で回答が多かった。「その他」に関してはつどい主催の行事参加があった。
- ・ 印刷機や会議室などのハード面の利用が目立つ。

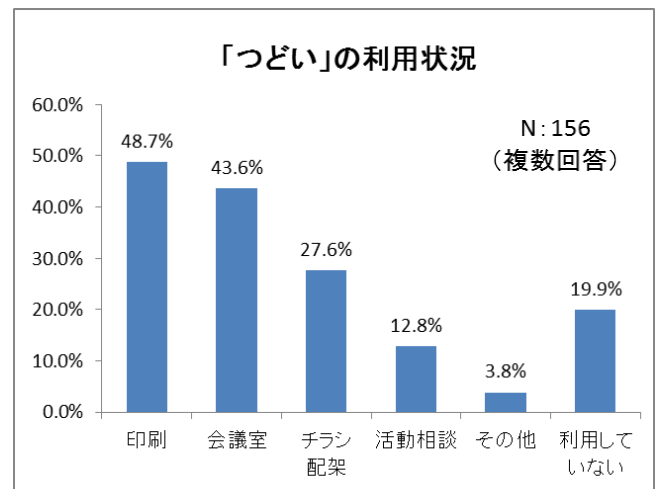


図5：「つどい」の利用状況

**質問6 活動していく上で困っていること（複数回答）【 図6 】**

- ・ 困っている原因として「人材不足」が37.8%と最も高く、次いで「後継者不足」(30.8%)「資金不足」(30.1%)が30%を超える回答であった。
- ・ 「その他」「活動拠点が無い」「ニーズがない」が15%以下で回答が少なかった。
- ・ 「その他」の回答をされた団体の記述欄には「メンバーの高齢化」が目立った。
- ・ 「困っていない」という回答が19.2%の回答であった。
- ・ 「その他」の回答内容：高齢化、子どもが少ない、法人の認知度が低い、雨天時の活動場所、時間がない、練習場所が確保できない、新規加入者不足、会員の高齢化 など

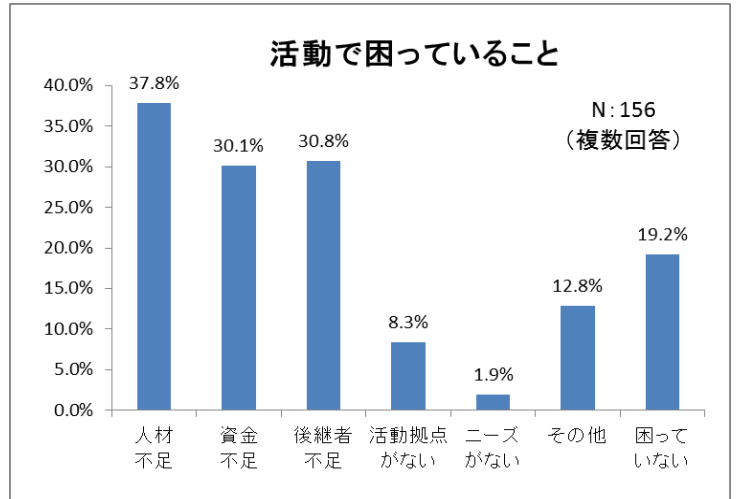


図6：活動で困っていること

**質問7 活動にひろがりはありましたか【 図7 】**

- ・ 「はい」と回答した団体は79%になり、「いいえ」と回答した21%を大きく上回った。「はい」と回答した団体の記述欄を分類すると「他グループとの交流」が最も多く、「活動範囲の幅」「活動場所」の記述が目立った。
- ・ 交流・広報などを行うことで、つながりが増え活動の幅が広がったようである（4頁～5頁参照）。

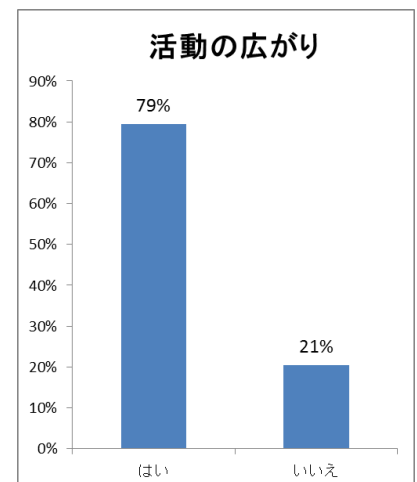


図7：活動の広がり

**質問8 協働したことがある活動主体（複数回答）【 図8 】**

- ・ 協働したことがある活動主体では、「地域活動団体」が40.4%と最も多く、次いで「つどい登録団体」「行政」「学校園」「校区まちづくり協議会」「事業者」「その他」の順で回答が多かった。
- ・ 「協働したことがない」が23.1%の回答であった。「その他」では神社祭事、他府県などがあった。
- ・ 「つどい登録団体」と「地域活動団体」の協働が多い結果であった。

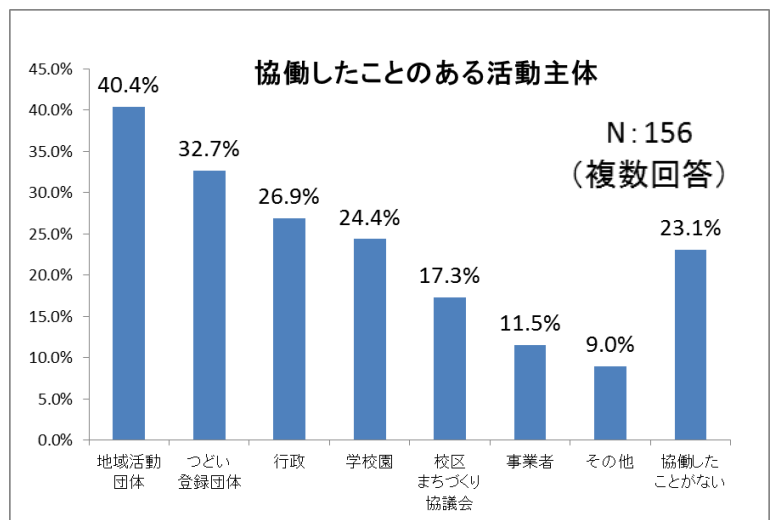


図8：協働したことがある活動主体

質問9 センター「つどい」以外で利用している施設（記述）

- 74団体が、下表にまとめた施設名を回答した（記述した内容をそのまま掲載）。

山本コミセン	社協のボランティア	会館	用和小学校集会所
サポート八尾	社協	全国の公営会館	上之島小学校
生涯学習センター	自宅教室	空	美和の会ちどり
プリズム	今井会館	ティアーモ	社会福祉会館
青少年センター	印刷	図書館	亀井小校区集会所
市役所	図書館会議室	お寺	近鉄百貨店
きずな	大阪市立市民学習センター	文化会館	恩智コミセン
まちなみセンター	各地区の公営施設	焼却工場	校区集会所
地域集会所	しおんじやま古墳	時間事務所他団体	地域の集会所
コミセン	大黒殿	龍華2丁町会	

質問⑦「活動に広がりはありましたか？」で「はい」と回答した方の記述 一覧

広報活動
宣伝、友人(会員)誘い。
参加した人が友達を誘ってきてくれる。
八尾市域での発表、校区福祉委員会、まち協が全面バックアップでサポート
あいあいひろばを利用している人がつどいさんが発行されている「つどい」の情報を得て活動の場を増やすことが出来たと聞いています。
本会のことをたくさんの方々に認知していただいた。
広報紙が発刊できることで活動情報を周知することができる。
活動の目的が理解されるようになった。
会に携わってた方が増え、神経筋難病について少しずつ知ってもらえるようになった。

人員状況
問合せ(つなぐを見て)が3~4件
知人に折り紙を教えてほしいと頼まれたり、その方が小学校へ教えに行ったり河内音頭の参加で情報交換等、友人知人の輪が広がっています。
会員数の増加、各地域のイベントでの啓発活動など
色々な小学校から部員がくるようになった。
利用者さんが増えた。
メンバーが増えた。
河内音頭まつりの参加だけですが、会員数が増えました。
新しい会員さんが3名増えた。地域も広がった。
どんどん人数は増えてきています。が病児の家族という性質上、参加するだけで精一杯の人が大多数。
定期演奏会の継続・新入会員
会員の増加
ここ数年団員は増えている。
メンバーが増えた。

活動場所
昨年から、市外から見て、八尾市を見つめなおす訪問する施設が増えた。
今まで大正地区が中心の活動でしたが、八尾市全般の活動に広がって来ました。
市民活動に参加していたので、名前&活動を知って頂けた。
市教育委員会、社協等の後援を受けて、広報範囲が拡大したこと。
ボランティアセンターを通じて「ふれあい浴場ボラ」「各施設」からのボランティアの依頼が増加している。
八尾読み聞かせの会で今年は八尾市後援でシルキーホールでもできた。
新しい演芸ボランティア活動(場所)が増えた
活動場所が有り
コミセン、集会所
広く中小企業経営者との出会いの場が活用できた。
新たな活動の場所が広がった。

外からの反応
講習会参加、社協の依頼
他町会の友人の参加あり
幼稚園、小学校から講演依頼が増えた。
地域の方が来所されるようになった
意見交換時に出席頂き、次に継ぐことができた。
憲法とりわけ9条に対する認識が広がったこと。
活動の質問者が増加

他グループとの交流
久宝寺小学校の子どもも入ってくれました。
日本の気候にあった木造建築への関心が高まって、今年のテーマは”心地よい暮らしを探る”企画が新しい参加者につながっている。
周辺地域(町会・自治振興委員会)のつながり・拡がり
周辺町会3町会 8 町会につながってきている。
中間支援の必要性、協働が広がった
八尾市に留まらず、他の市からの要請が増えた。
東山本校区まちづくり協議会の方々との交流ができるようになった。
他の市民活動を広く知れました。
他の市民活動の方と知り合えた。
他のグループとの交流
校区福祉委員会、まち協が全面バックアップでサポート
利用者が会員に、団体同士のつながり
他団体とのつながりが増えた。
たまたま知り合った東大阪市の施設の園長さんの所でボランティア
他の団体と共演したり、イベントの出演や地域包括センターの講座の依頼など
小学生を対象に団体同士(河内昭和音劇団・八尾マジック)の共演コラボを実現し、成功した。
環境アニメイテッドやおに関わる団体とのつながりが増えたこと。
各種団体とのコラボ、プリズムホールとのつながり
読み聞かせグループ以外の方との交流が少しありました。
活動団体をつなぐ事が出来た
長年活動しているので繋がりは増えていく
河内木綿の栽培、ワークショップ、出前授業など活動が広がり、様々な団体・個人と協働することができた。
つながりができ、行事参加協力の連絡がくるようになった。
子ども会とのつながりが出来ました。
河内音頭や江州音頭の関係が広がりました。

活動範囲の幅
町内会の行事
環境啓発活動、自然エネルギー利活用体験会、見学会
昨年 7 月 1 日に地域に町屋風カフェもくれんという事務所をオープン
今年度から中学生の少年野球チームを運営するようになった
各学校などで手話教室、講座、ボランティアなどよく活動した。
“どんこう”に河内各所図会の掲載、「八尾の史跡」に参加
活動要請があつたりと拡がりがある。
毎年夏に開催している青空学校に参加者が増えた。
活動の場の開拓に積極的に取り込んでいる。
毎月一回手相の会を開いている。
公演依頼が増えた。マスコミからのをもらった
老人ホーム・介護施設・障がい者活動支援・ボランティア養成講座の指導
八尾市体育連盟・八尾市文化連盟・八尾市子供政策課・八尾市教育サポートセンター・八尾市河内音頭まつり 等
色々な立場の人から連絡有
活動の種類に広がりが出ています。(いいえの理由として:人数が減っています)
メンタルサポート学園としてトータル3000名程受講頂きました。
環境アニメイテッドの活動に参加するようになってつながりが増えた。
多様なニーズに応えられるようになった。

メンバーの意識改革
会員相互の問題意識の向上
卒業生のつながりが一年毎に密になってきています。
自由参加なので